



不壊

久留米高校 PTA だより

第86号

発行 久留米高等学校
父母教師会
編集 企画広報委員会

気 叡 誠 校
魄 智 実 訓

2016.6.11
久高体育祭



実行委員長 白水千智さん

体育祭でしか感じることができない感動というものを感ずることができました。
声をからして応援する人や、全力で競技をする人、各ブロックで一丸となって戦っている姿が多く見られました。そして、最後の学校応援では、ブロック長・団長の六人を中心に学校が一つになっている姿が見られ、改めて久高生全員でつくりあげた体育祭と実感することができました。最高の仲間たちに感謝するしかありません。素晴らしい体育祭をありがとうございました。



登竜門

～進めさらなる高みへ～



赤ブロック長 養田 和希君
体育祭を通して改めて久高生の和を感じることができました。あっといふ間の2週間で、楽しいこと、辛いこともあったけど最後は本当に皆がやり切った顔をしていたので、一人一人が充実したものを作りあげたんだと思いました。特に三年生は切り替えて頑張ろう。

赤応援団長 松本 小太郎君
団長として団員一人一人が、挨拶や全体への指導をできるように努めました。このことから、深く関わりとまとめることの大変さを思い知りました。しかし、これまでにない達成感と仲間の大切さを感じることができた良い体験でした。

黄ブロック長 永谷 瑠璃君
体育祭お疲れ様でした。おそらく自分の人生で最後の体育祭で、黄ブロック長ができたことは、自分にとってかけがえのないものとなりました。最高の仲間にもまれ最高の経験ができ幸せです。体育祭に関わった全ての人に感謝したいです。ありがとうございました。

黄応援団長 細岡 幸志郎君
今年の久高体育祭は、たくさんの方々の協力があり例年以上の盛り上がりだったと思います。自分個人としても、赤団長や青団長と共に協力した応援合戦を盛り上げることができ、最高の思い出を作ることができました。

青ブロック長 堀江 光瑠君
最初は不安がたくさんあったけど、本番が近づくにつれてブロックが一つになっていくのを感じることができて嬉しかったです。優勝はできなかったけど、各ブロックが良さをだし、学年関係なく久高生全員が楽しんで最高のものでした。

青応援団長 宮原 大輔君
長い時間かけてつくってきた体育祭が現実になる喜びと最後の体育祭が終わったんだなという寂しさが交ざって不思議な気持ちです。登竜門だった体育祭を通して自分なりに大きな一歩となりました。来年を楽しみにしています。

学食に行ってきました！

体育祭が行われた6月11日(土)、新業者に替わった学食へ。広報委員3人で行ってきました。

私たちが食べたのは、チキン南蛮弁当、焼肉弁当、唐揚げ弁当の3種類。ご飯と一緒に食べたくなる味付けだったので、3人ともあつという間の完食でした。

学食は食券制で、朝8時25分から食券を購入し、記名しておきます。昼食時間には記名した食券を提出。自分の注文が出来上がったら、メニューと名前が呼ばれます。

メニューは、自宅から持ってきたご飯の上に注文した具のせてくれるのせ丼、ランチ、丼物、めん類、コロッケ・ドーナツ等の単品も合わせて約60種類あります。



湯地先生

なぜ数学の教師になられたのですか？

小中学生の時は、数学はあまり得意ではありませんでした。高校でもおもしろくなり、友達に教えるのが楽しかったからです。



【まとめ】最初は緊張した面持ちだった濱田先生も、学生時代の思い出話を語られるにつれ、若さあふれる優しい表情に変わっていかれたのが印象的でした。
要所はきちんと頭に残るようしっかりと、でも笑いの部分も盛り込まれた湯地先生の話を聞いて、おもしろい風景が頭に浮かんでいました。お忙しい中、長時間のインタビューにお付き合いいただき、ありがとうございます。

(抜粋)

留学生紹介

留学生にインタビュー

- Q NAME : Valerie Bermudez
- Q AGE : 17
- Q Your hometown : Panama
- Q What you want to do in Japan?

I decided to come to Japan as an exchange student to learn the language as well as make many friends.

I'm having fun so far and I really like Japan, so in the future, I want to study in a Japanese university.

If I get the chance, I also want to live in Japan. For now, I really want to travel around Fukuoka and meet a lot of people.



本年度父母教師会会長を務めさせて頂き、30年前に本校を卒業し、一人として、保護者が学校に足を運び、子どもたちのために活動をしている姿を見て、当初「そこまでやるんだ」という驚きを感じました。保護者の皆さん全員、というわけではないうえ、恐らく同世代の多くの方々に共感していただけていると思います。もう高校生なんだから、親がわざわざ出て行って、とやかま言うことは無い」一方で、事実あること「父母教師会は学校と子どもたちの応援団である」という話を聞き、腑に落ちた部分がありました。協力できる人たちが、できる範囲で子どもや学校のために



父母教師会会長 森 久

何かをやる。そんな自然体の姿勢が、久留米高校の父母教師会にはあると感じています。高校受験と同様、大学受験は私たちが世代的感覚とは全く違います。また、スマートフォンやSNSなどがこれほど日常生活の中に入り込んでくるとは誰も想像しなかったでしょう。周りを見渡せば戸惑うことばかりです。そんな中で「父母教師会がこんな活動をやってくれている良かった」と思っています。少しでも役立つ存在でありたいと考えています。保護者の皆様、教職員の皆様にはご協力をお願いすることも多いと思いますが、どうぞ活動へのご協力とご参加をよろしくお願い致します。

久高卒業の先生座談会

今回は久留米高校の卒業生の湯地先生(以下、湯) 濱田先生(以下、濱)へ、先生方の高校時代についてインタビューしてみました。

Q 先生方が、久留米高校を志望した理由は？

湯 学校で選ぶというよりは、塾の先生に「明善のポチポチでいくより、久留米高校がいいぞ」と勧められたからです。
濱 学力と家が近い、これ以外、何の理由もありません(笑)

Q 部活名とその思い出を教えてください。

湯 ラグビー部に入っていました。ラグビーを通じて仲間の大切さと不条理に打ち勝つ力がつきました。耐える根性を学びました。
濱 小2から大学までサッカーをしていました。高校2年生のとき、新人戦地区大会と修学旅行の日程がかぶってしまったので、出場する全員が話し合いもせず、新人戦出場を断ったことが思い出です。



Q 教師にはなりたかったのですが、理系の教科で迷っていて、大学に入るときに成績がよかつた数学に決めました。数学ができたのは、今も久留米高校にいらつしやる原先生のおかげです。(笑)



濱田先生

Q 数学のコツはありますか？

湯 「分かったら楽しい。そこに辿り着くまでにある程度の努力が必要。まず、がんばって結果を出す。結果が出るからやる気が出る。そして分かるようになる。」

濱 ……と、湯地先生の話を、急にメモにとる濱田先生。(笑)

数学は前にやったことをしっかりと理解しないと進めない教科なので、夏休みに苦手分野をしっかりと復習してほしいと思います。自分のときも課題が多くて大変だったけど、自分のためだと思つて今の久高生にもがんばってほしいです。

体育祭も無事終了することができました。御声援ありがとうございました。
さて、音楽プロデュースサークルの皆さんが母校の入学式で次のような祝辞を述べられました。
入学直後、日本一のミュージシャンになると決意し、苦難の末、夢を実現したが、あの時なせ世界一にならなかつたのか、今後悔している。人生なかなか持ち次第、良かったかダメだったかは自分の心次第。「私は心の中が『幸せ』であつた」というようなものでした。また、「トイ・ストーリー」や「トイ・アンディンク」を創つた会社の社長が作品づくりについて書いた本があります。
試作段階は独創的だが、脆く不完全で、公開されたものとは似ても似つかない。「酷い赤ん坊」だ。イモムシがサナギを経て蝶になるように、早すぎるタイミングで判断されないようにする。



校長 岸 宏志

抱強く育てなければならぬ。メッセージがちゃんと伝わるように、多くのスタッフが観客の視点で問題を指摘し、それを参考に原作者が何度も作り直し、失敗・修正のサイクルを速く回すことで大きな成長が達成できる。コスト意識は大切だが、収益を唯一の目的にすると失敗は切りになる。
完成版ありきではなく、様々な視点からの助言を謙虚に受け止め、不純物の混じつた原石を磨いて輝きを増やすことができるのは、物語を紡ぐ本人だけだということでしょう。
生徒には作者として伝えたいストーリーを高く掲げてほしいし、保護者の皆様や教職員には制作スタッフとして、率直に課題を指摘し、見守つてほしいと思います。早いうちから失敗・改善を繰り返して、苦痛や恐怖心を克服する経験を積んで、失敗がないと逆に不安に思うようになってもらいたいです。

理事会

5月16日に理事会と各種委員会を開きました。各委員会の委員長など役割分担を決め、今年度の久高PTAが実質的なスタートを切りました。各委員会の行事予定などは次の通りです。

「久高祭に参加決定！」

9月17日(土)の久高祭で、今年も「バザー」「喫茶コーナー」「休憩コーナー」を開設します。バザーで販売する不用品の提供など、後日、お知らせしますので、ご協力をお願いします！

編集後記

「不埒」1学期号は、いかがでしたか。広報委員として初めての活動、かなり戸惑いながらも、全員で一生懸命取り組むことができました。これからも、皆様に楽しく読んでいただける広報紙を作っていきます。



1 学年委員会 進路講演会

開催 予告

9月3日 13時～ 場所未定
講演会后、クラス懇談会も開催

2 学年委員会 進路講演会

開催 予告

11月12日 14時～ コモンホールにて
修学旅行報告会、クラス懇談会も開催

3 学年委員会 進路講演会

7月2日に進路講演会を開催しました。次号で詳細を報告します。

国際交流委員会

開催 予告

7月9日に留学生交流会を開催しました。次号で詳細を報告します。
12月10日 クリスマスパーティ

研修委員会 大学視察

開催 予告

9月29日 長崎大学